

□ 庁舎統合に関する意見交換会の実施結果（平成 30 年度）

1 実施概要

開催日	開催時間	開催場所	参加者	アンケート
8月9日（木）	午後6時30分 から8時まで	住吉会館	3人	3通
8月10日（金）	午後6時30分 から8時まで	保谷駅前公民館	1人	1通
8月12日（日）	午後1時30分 から3時まで	住吉会館	8人	7通
	午後4時から 5時30分まで	保谷駅前公民館	8人	5通
8月16日（木）	午後6時30分 から8時まで	向台地区会館	6人	6通
8月17日（金）	午後6時30分 から8時まで	緑町地区会館	4人	3通
8月19日（日）	午後1時30分 から3時まで	緑町地区会館	5人	5通
	午後4時から 5時30分まで	向台地区会館	6人	6通
※うち、自治会・町内会の方は6人			延べ41人	36通

2 主な意見

【統合庁舎について】

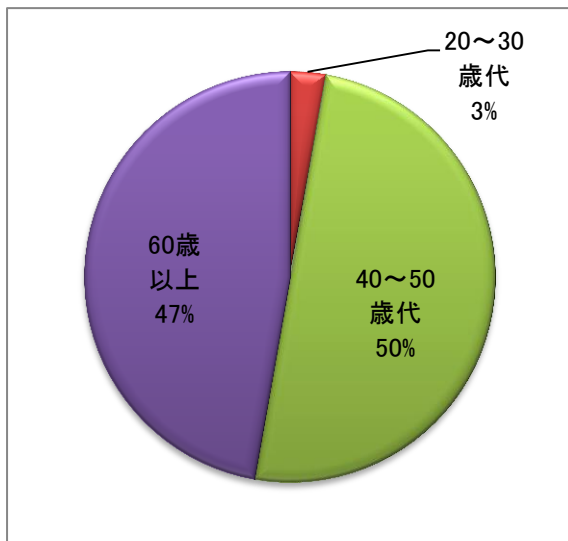
- ・ 統合庁舎は機能的でコンパクトなものを検討
- ・ ICTの進展を踏まえ、行政サービスの電子化を検討
- ・ 交通利便性の高い市中心エリアでの統合
- ・ 道路付けがよく、面積に余裕のある保谷庁舎敷地での統合
- ・ 身近な場所で受けられる市民サービスを検討すれば庁舎はどこにあってもよい
- ・ 庁舎を単独で検討せず、他の公共施設やまちづくりと合わせて検討

【保谷庁舎敷地活用について】

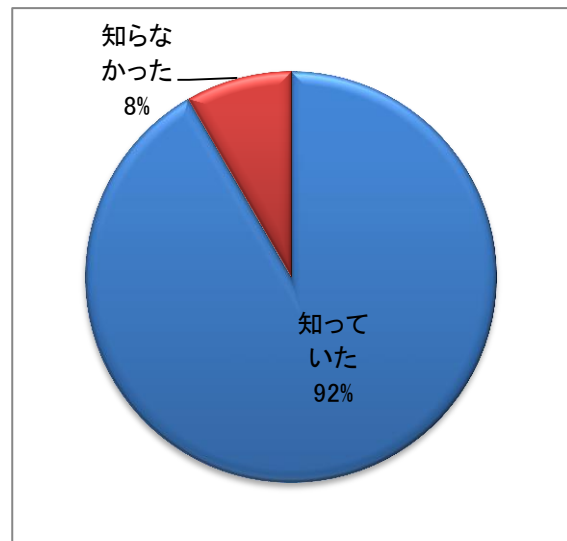
- ・ 子どもの遊び場となるような広場又はスポーツ場（テニス、サッカー、野球）
- ・ 多世代の市民が交流できるような憩いの場、居場所づくり
- ・ ハコモノは不要であり、災害時にも活用できるような空間の確保
- ・ 保育園、児童館、学童クラブ、図書館など、子育て支援に資する施設

3 アンケート結果

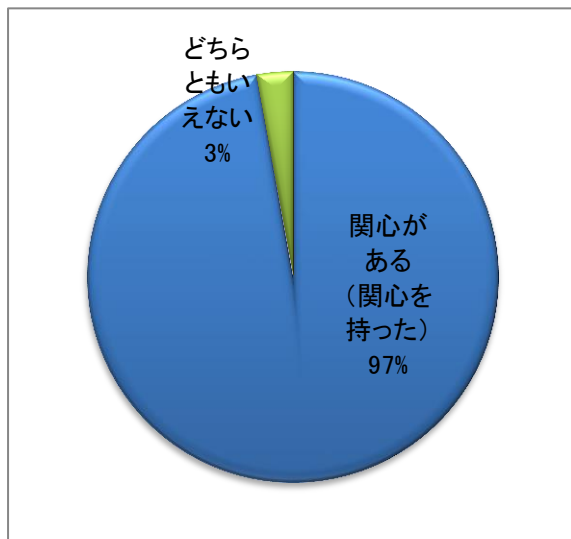
■ 「年齢層割合」



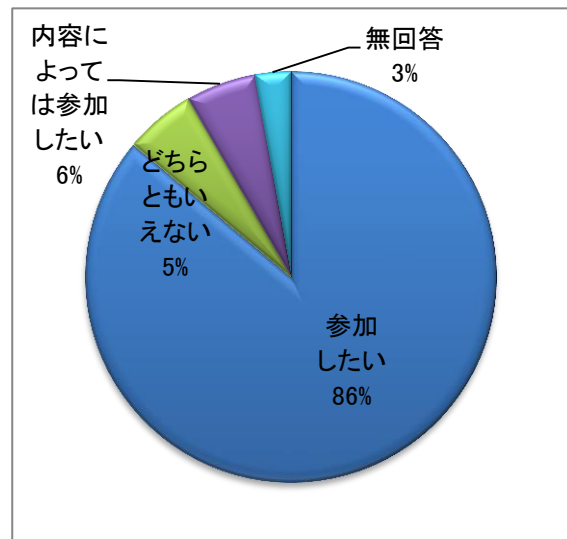
■ 「庁舎統合方針の認知度」



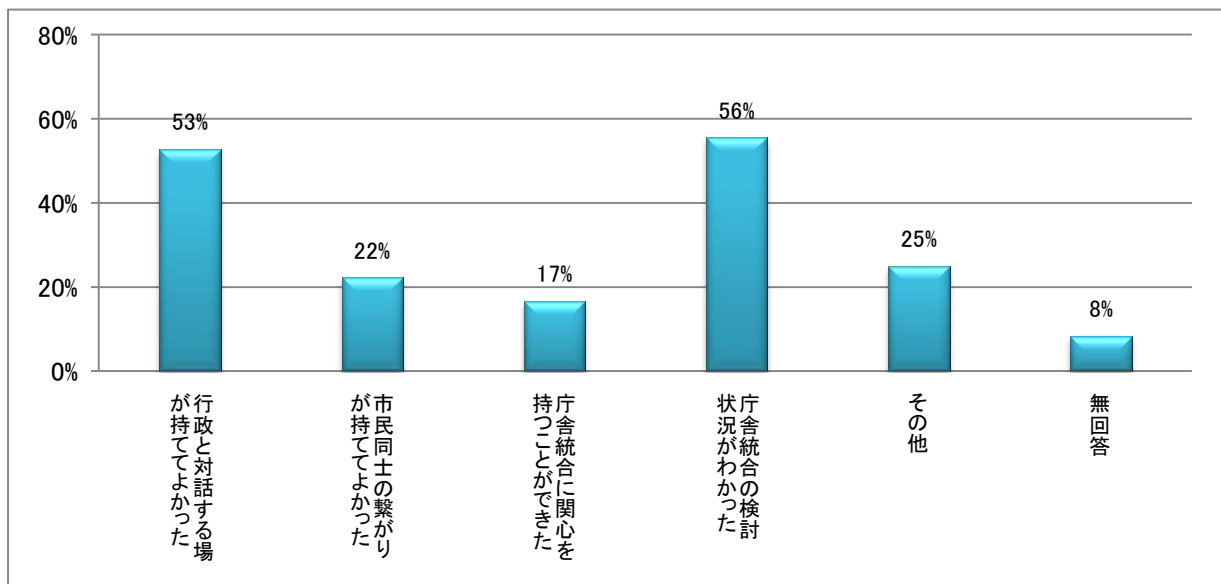
■ 「庁舎統合に対する関心度」



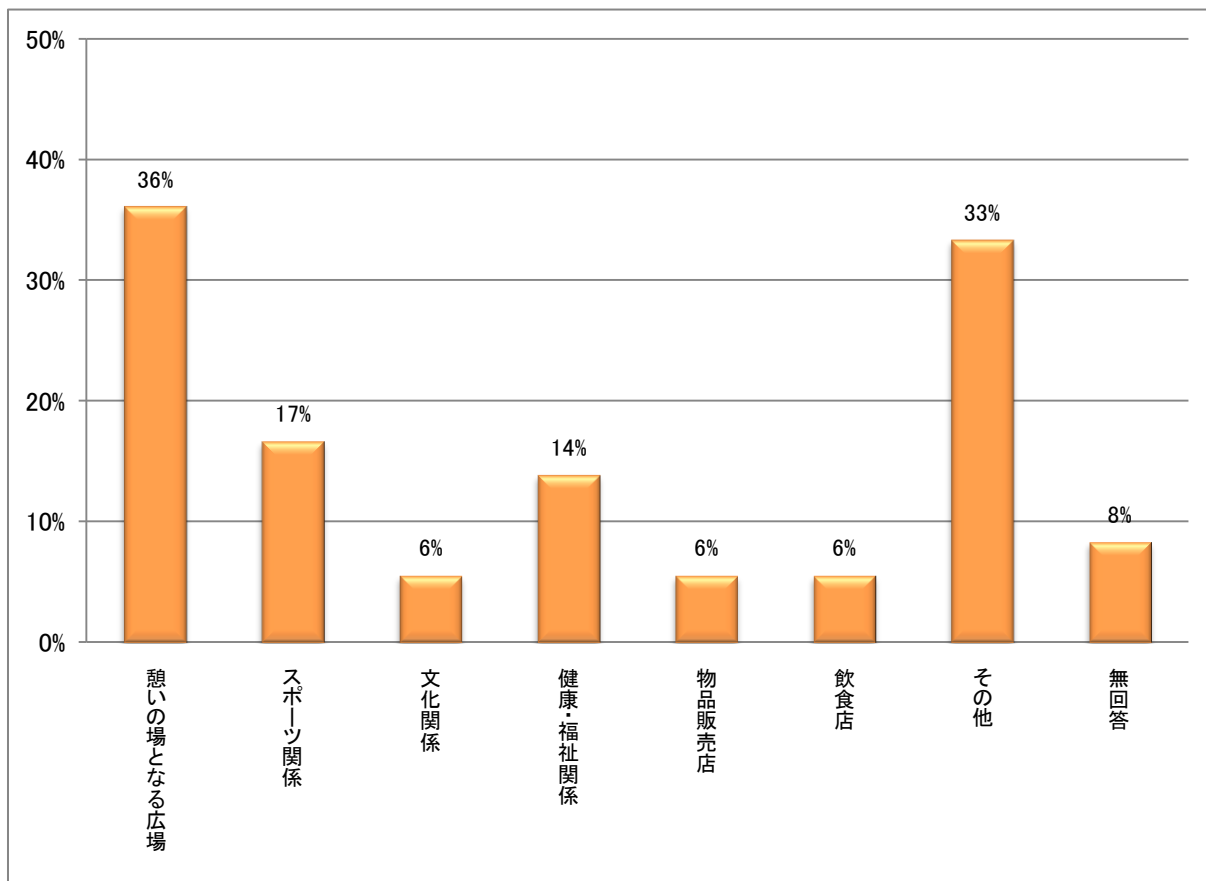
■ 「意見交換会等に対する参加希望」



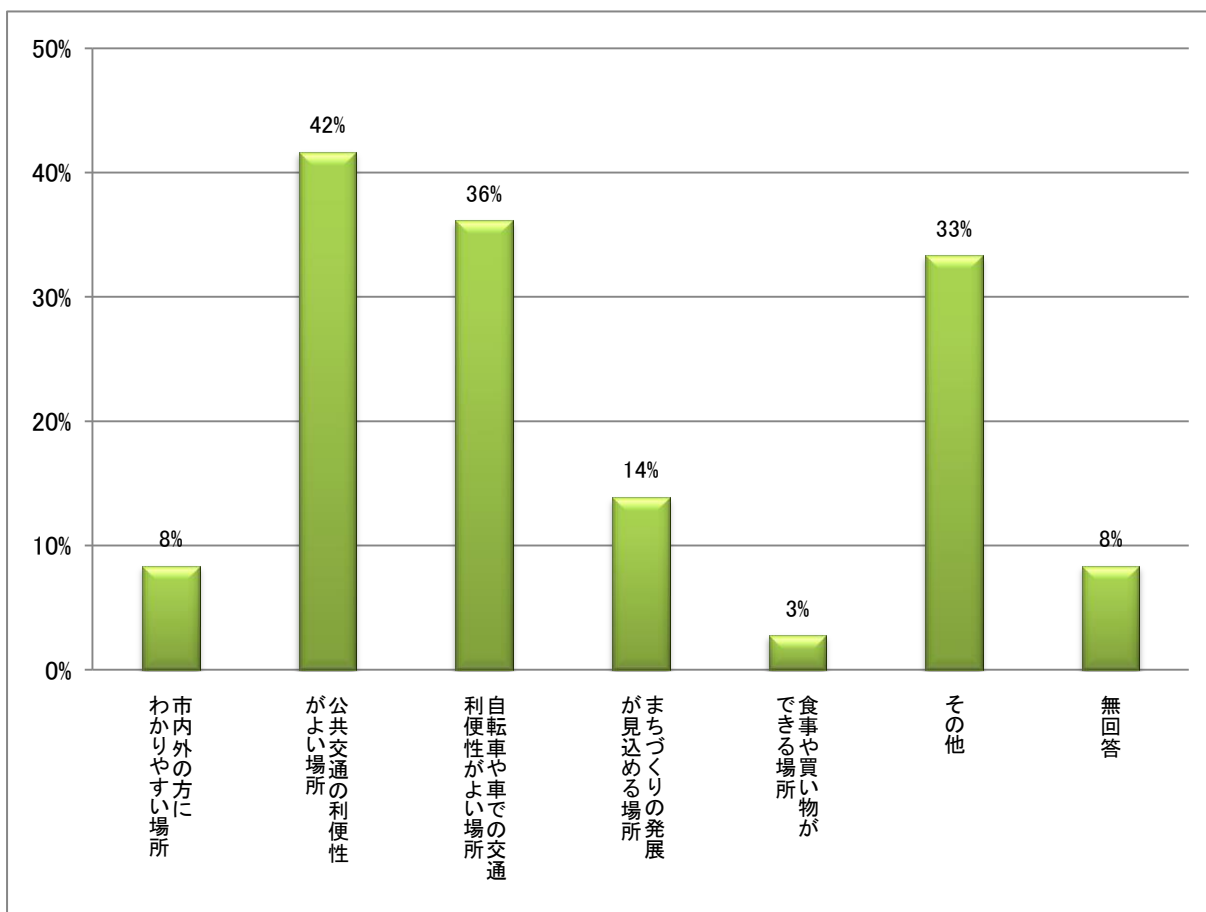
■ 「意見交換会に対する感想」 ※複数回答あり



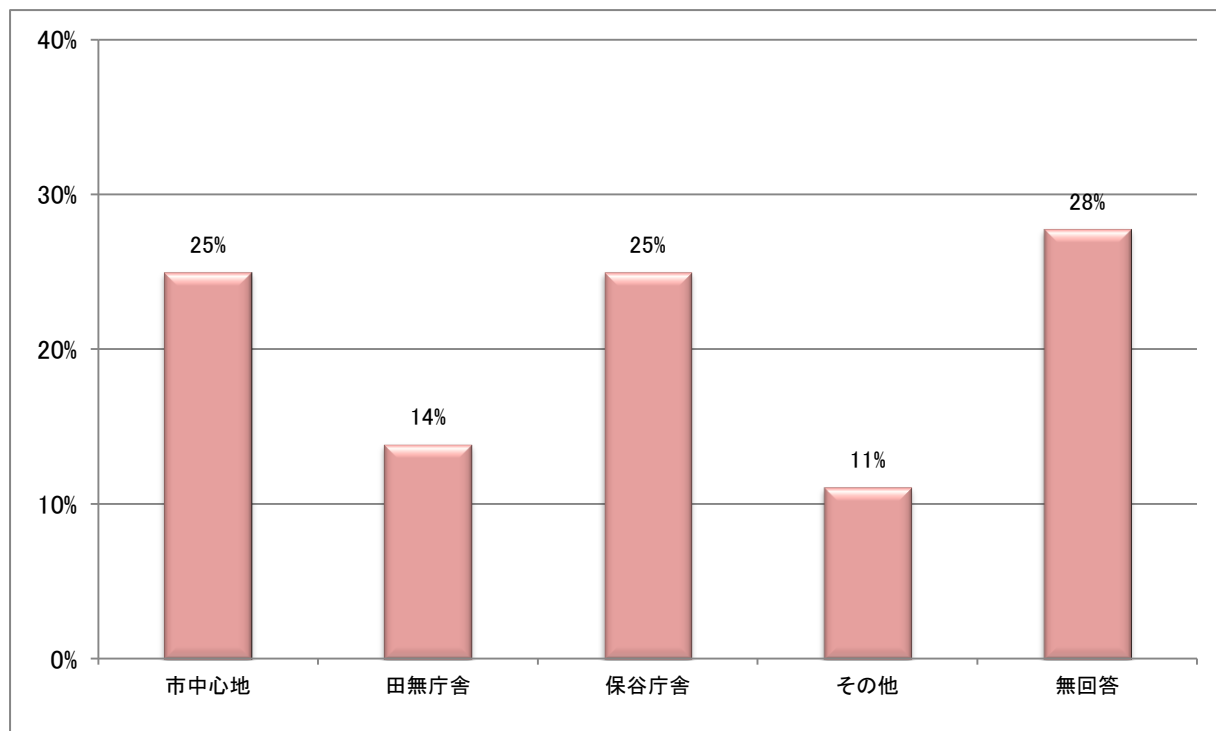
■ 「保谷庁舎敷地の活用」 ※複数回答あり



■ 「庁舎の位置で重視する点」 ※複数回答あり



■「市中心エリアのイメージ」※複数回答あり



<主な理由>

エリア	主な理由
市中心地	<ul style="list-style-type: none"> ・旧田無、旧保谷市民との平等性が担保できる。 ・市内各駅から均等な距離にある。 ・西武新宿線、池袋線のどちらからもバス交通の利便性がよい。 ・見通しがよく、庁舎用地に適している。
田無庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道、バスなどの交通インフラが充実している。 ・利用しやすく、利用する人数が多い。 ・駅から徒歩で行ける範囲がよい。
保谷庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・市有地で敷地面積も十分確保できる。 ・広い道路に面しており、自然環境がよい。 ・周辺に建物が密集していない。
無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・市の中心という概念は、あまり意味がない。 ・インターネットで申請手続きが済むならどこでもよい。

4 意見概要（アンケート自由意見も含む）

【庁舎統合方針】

庁舎統合方針は、市民の意識も丁寧に確認し、市の業務の効率化、市民の利便性を考慮した方針であることを理解した。
仮庁舎整備は必要経費として理解できるが、市中心エリアに実現可能な土地がないのであれば、市中心エリアにこだわる必要はない。
平成 35 年度より前に統合庁舎の場所を決定し、機能や規模の議論を進めた方が建設的である。
二庁舎体制も視野に入れて再検討するべき。
保谷庁舎が老朽化しているのは理解するが、コストをかけずに改修して継続使用できるのではないか。
仮庁舎の整備費は約 9 億円とのことだが、約 13 年間しか使用しないのに高額ではないか。しっかりと精査されたものなのか。
仮庁舎は壊すことが前提なら、連絡通路やエレベーター増設は無駄ではないか。必要最小限にすべき。
仮庁舎の耐用年数はどの程度なのか。リース期間終了後も使用できるのではないか。
田無庁舎は 2033 年度を超えても使用できるのではないか。仮庁舎と合わせて使い続けてもよいのでは。
庁舎間連絡バスは維持管理コストがかかるので、職員は民間の路線バスを利用し、廃止にした方がよい。
庁舎機能の再配置による移転費用が示されていない。早急に検討し、市民にも移転費用を示すべき。

【統合庁舎】

統合庁舎の整備に関しては、非常に多額の資金が必要となる。国や都からの助成金や補助金を十分に活用した方がよい。
将来的には ICT の発展などにより、庁舎に行く必要もなくなるのではないか。そうなると、統合庁舎はそんなに必要であるとは思わない。
今後の社会状況を見ると、コンパクトシティ化していくことが予想されることから、維持管理に莫大なお金のかかるシンボリックなハコモノは不要である。
人口推計を考慮すると、将来的に人口が減っていくのだから、現在想定している庁舎規模よりも小さくなる可能性があるのではないか。
ICT や AI の進歩が著しく、数年後には自宅で行政サービスを受けられる時代が見えてくる可能性がある。職員の働き方の変化も含めて必要な規模も再検討するべき。
統合庁舎の規模については、2033 年度の職員数を踏まえて検討してほしい。
庁舎は職員が働く場所以外に、市民の居場所、多世代交流の場所となるような機能も重要である。統合庁舎の機能面についても検討してほしい。

【庁舎の位置】

保谷庁舎または田無庁舎での統合となると、未だに旧市感情の課題があることから問題になるため、市中心エリアでの統合がよい。
田無庁舎、保谷庁舎周辺は住宅地が広がっていることから、市中心地の見通しのいい場所での統合が望ましい。
ひばりが丘団地ではマンションの建設ラッシュが進んでおり、若い世代も増えてきている。将来的なまちづくりの発展も考慮し、庁舎は市中心エリアがよい。
市中心エリアということだけでなく、大きな道路に面している土地という条件を加えて検討した方が、市民は場所のイメージをしやすい。
交通要所である「田無駅」と「ひばりヶ丘駅」を結ぶ谷戸新道沿いで統合すべき。谷戸新道沿いであれば、災害時にも緊急車両等の通行が可能である。
市民が庁舎へ行くのに電車を使うことほとんどなく、主にバスを利用する。市民の交通利便性を考えれば、バスの便がよい谷戸新道沿いが一番望ましい。
少子化が進めば、小学校や中学校の敷地が活用できるのではないか。市有地であるため、取得費用がかからないので検討すべき。
ICTの活用により、統合庁舎の規模が小さくなれば、市中心エリアであっても建設可能な場所の候補地が、現在の想定より増えるのでは。
理想は市中心エリアでの統合だが、土地の取得コストを考えると田無庁舎敷地か保谷庁舎敷地での庁舎統合を検討した方がよい。
市中心エリアでの統合の可能性はどの程度あるのか。実際に候補地がないのであれば、検証する意味がないのでは。
市中心エリアにある市有地が活用できないのであれば、新たに土地を購入してまで進めるべきではない。
必ずしも市中心エリアで統合する必要性はないのでは。
旧市の市民感情が残る中で、現在の庁舎敷地を活用する案に決定するのは、難しいのではないか。
将来的な社会状況の変化を鑑みれば、物理的な庁舎の位置は、今後意味を持たなくなると思う。
公共交通の利便性がよければ、市中心でなくてもよい。市民が使いやすいサービスが実現できるなら、どこでもよい。
行政サービスの電子化を進めていただき、インターネットを通じて自宅やコンビニ等で申請手続きの用が済むようになれば、庁舎の位置はどこでもよい。
働いている世代の市民にとっては、統合庁舎を整備するよりも駅で24時間公共サービスを受けられる方が望ましい。その場合は、庁舎の位置はどこにあってもよい。
交通利便性を考えると、電車もバスも利用可能な田無庁舎の敷地に統合庁舎を建てた方がよい。保谷庁舎の敷地は、自家用車がないと不便である。
保谷庁舎の場所は、バス便が少なく、駅からは遠い。高齢者にとっては非常に行きづらい場所であるため、庁舎統合の候補地とはなり得ない。
市中心エリアでの統合が望ましいとしても、適地がないのだから保谷庁舎で統合すればよい。

保谷庁舎敷地で統合し、田無庁舎は市民サービス窓口を中心とした出張所を置けば、不便を避けられると思う。
保谷庁舎敷地は道路付けが良く、面積が広いことから、市のシンボルとなる統合庁舎を建設すべき。
保谷庁舎敷地に統合庁舎を整備し、田無庁舎敷地は、教育・文化・芸術の拠点施設を整備した方がよい。
保谷庁舎で統合する方針を決定し、どのような機能を持たせるか、周辺の交通（バス等）の整備をどうするかなど、具体的な検討に進んでほしい。
田無庁舎敷地は道路付けが悪いので、庁舎敷地に適していない。
田無庁舎の場所は、北側から西武新宿線を越えて行くには、車椅子や高齢者の方にとって困難である。
駅から徒歩10分以内の場所であれば、許容範囲だと思う。
西武新宿線以南のはなバスについては、ルートを含め利用しづらい。はなバスを利用しなくてもよい場所に庁舎を統合してほしい。
50年後、100年後の市のまちづくりを考えたらうえて、庁舎の位置も検討すべき。
予定されている道路整備が進むことで、人や交通の流れが変化していく。道路整備の計画や進捗状況を踏まえて、庁舎の位置を決める必要がある。
市が考えている具体的な候補地を早く示してほしい。
住んでいる地域によって、庁舎の位置の意見が異なるのは、仕方のないことだと理解できる。

【保谷庁舎の敷地活用】

ハコモノに限らず、多世代交流が可能な居場所づくりがよい。
居場所づくりの観点は大切だが、せめて飲食できる施設がないと、その場所に居続けることは難しい。
ハコモノを整備する必要はなく、子どもの遊び場、ドッグラン、公園や広場的な活用で十分である。
防災センターがあるのだから、広場でもよいので災害などの有事の際に空間を空けておくべきでは。緊急車両の集積所としての活用もできる。
施設を整備すると、廃止にする際のハードルが高くなるので、暫定利用が受け入れられる活用がよいのでは。
スポーツセンターがあるので、屋内スポーツだけでなく、屋外スポーツができる場所として一体的な活用ができればよい。
スポーツセンターの補完となるようなスポーツ施設と保育園、グラウンドなどがよい。簡易な飲食店も必要である。

東町テニスコートが廃止になってしまったため、スポーツセンターと一体的な活用も視野に、テニスコートを整備してはどうか。
大会ができる野球場、サッカー場、テニスコートが必要ではないか。
子どもが野球やサッカーなどのボール遊びをする場所が減っているので、ネットで囲んでボール遊びができる場所として整備してはどうか。
直近の課題である待機児童対策のために、民間に保育園を整備してもらうのはどうか。保育園の園庭は、夜間、こもれびホールの駐車場として活用してもよい。
子ども向け総合施設がよい。(文化+スポーツ+行政支援)
子ども達が利用できる施設として、図書館・児童館の複合施設がよい。
子育て支援に資する保育園や学童クラブを整備すれば、子育て世代に喜ばれるのでは。
「きらっと」と同じような、小・中学校の展覧会が行える施設がよい。
文化的事業で活用できるものを検討してはどうか。
こもれびホールの駐車場が小さく、せっかく良いイベントがあっても満車になってしまうことを懸念し、行くことをためらう人もいる。駐車場として活用しては。
シニア世代が散歩や運動ができる場所として整備し、木陰なども作り、休憩できるスペースもあるとよい。
高齢者社会になることから、高齢者施設を整備してもよいのでは。
跡地活用はせずに、そのままでもよいのではないか。暫定的な敷地活用ではなく、将来活用に目を向けるべきである。
庁舎の位置が決まるまでは、敷地活用を考えなくてもよいのでは。
暫定利用だったら特にない。
新しい庁舎の位置を決定することに注力すべき。跡地活用は二の次でよい。
保谷庁舎敷地は、統合庁舎を作る候補地として考える必要はない。売却か資産運用を行えばよい。
市の特色となるような活用方法がよい。
統合庁舎の建設用地にしてほしい。

【市民サービス】

公共施設の再配置も踏まえた、身近な場所で受けられる市民サービスのあり方を検討してほしい。

市内に行政サービス機能を増やした方がよい。各種申請手続きも極力電子化が望ましい。

なるべく維持費がかからないように、IT化やクラウド化を進めるべき。ただし、市民相談の窓口は大事にするべき。

地域包括支援センターを活用した分散型の市民サービスも検討してほしい。

窓口サービス等は、職員がタブレット等を持参し、サービスを受けたい市民の方に出向いて行うことで、わざわざ市役所に行かなくて済むようにすればよい。

【市民参加】

庁舎統合を進めるには、市民の協力を得ることが大切であり、機運醸成を高めるために丁寧な情報提供に努めるべき。

統合庁舎を整備するための基金について、市は計画的に積立ての検討を行っていることを、もっとPRすべき。

庁舎統合の検討に時間をかけ過ぎている。市民意見を聞いていたら、いつまでも決定できない。一気呵成に決めるべき。

2033年の人口予測をしながら色々なデータを示し、まちづくりの「見える化」を図ることで、市民の間でもまちづくりの具体的なイメージを持てるようになる。

市民の意識合わせができるよう様々なデータの「見える化」をしてほしい。意識調査がまとまりやすくなる。

これまでの市民参加は丁寧なやり方ではあるが、さしたる意見を持っていない市民に意見を求めても意味はない。市が強いリーダーシップを発揮して進めるべき。

若者サミットが開催されていたが、若者に限定せず、多世代の意見を聞けるような仕組みを作ってほしい。

統合庁舎の整備は、子供・孫世代へ多額の借金を残すことになるので、当事者である世代の意見も聞けるような機会を作ってほしい。

現状を考えるのではなく、未来のデータ予測を示してほしい。15年後は、今の小・中学生も子育て世代になる。子どもの意見も聴取しておくべき。

子ども達の意見も取り入れて、市民参加型の一大プロジェクトにしてほしい。

市民を半数以上加えて、意見を反映させるような仕組みを考えてほしい。

【その他】

統合庁舎を整備する際は、他の公共施設との複合化も行い、市内の公共施設マネジメントを進め、公共施設等総合管理計画との整合も図るべき。

庁舎統合よりも、公共施設の適正配置の検討を進めてほしい。

ハコモノにお金をかけるよりも、職員の効率的な活用に力を入れるべき。

庁舎を単独の問題として検討するのではなく、市のグランドデザインを示し、総合的に検討するべき。

保谷庁舎解体後の敷地や将来的に田無庁舎の敷地を有効活用するためには、早く市中心エリアの場所を決定し、具体的な方針を確定した方がよい。

長いスパンの計画なので早急に決定する必要はなく、将来の人口や財政面などを総合的に考えて、ゆっくり決めればよいと思う。

庁舎の問題に関し、検討する期間が長すぎて、市民の関心や意識が薄れてきている。

田無駅南口は教育・文化・芸術ゾーンとし、田無駅南口再開発にあわせ、駅南口から田無庁舎敷地までペDESTリアンデッキを作るべき。

庁舎間連絡バスの市民利用については、ぜひ可能になるように検討いただきたい。

いろいろな機能が田無庁舎に移り、統合庁舎ができるまでは不便になる。

庁舎統合問題が迷走するために、中央図書館・田無公民館、市民会館などの施設の今後の方向性が定まらず、割に合わない。

新しい西東京市の発展となるような庁舎にしてほしい。